



やまと 市議会だより

第304号
令和3年(2021年)2月1日
【編集】
広報委員会
【発行】
大和市議会

12月定例会

新型コロナ対策を含む 一般会計補正予算を可決

令和2年第4回定例会は11月25日から12月21日までの27日間の会期で開かれました。今定例会には、令和2年度大和市一般会計補正予算(第7号)など議案40件が市長から提出され、請願1件、陳情2件とともに審議されました。また、議員提出議案として、年末年始における航空機の飛行自粛を求める決議など4件が審議されました。(審議結果は8面に掲載)



冬の泉の森

令和2年度大和市一般会計補正予算(第7号)は歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億5368万7千円を追加し、1063億2715万8千円とするものです。

主な内容は、歳出は民生費の児童扶養手当受給者への臨時特別給付金の給付に係る経費(8207万3千円)、衛生費の休日夜間急患診療所運営に係る経費

(1935万6千円)などとなっており、新型コロナウイルス感染症への対応等を含め必要な経費の増額等を行うものです。歳入は、国庫支出金、県支出金、繰越金等を計上しています。

本会議における審議

所管の各常任委員長からの審査報告後、討論を経て、賛成多数で原案のとおり可決されました。

〇反対討論

・コロナ対策などには賛同できるが、マイナンバーカード普及拡大には反対する。ひもづける情報に多くの個人情報に加え、それを大企業に提供するなど、経済の活性化にも活用しようとしているが、情報漏えいによる、なりすまし犯罪の危険、個人のプライバシーが大企業などの利益獲得に活用されることには問題がある。マイナンバーカードを持つ、持たないは個人の選択であり、持たざるを得ない状況をつくり出そうとすることも問題と考え、反対する。(共産)

〇賛成討論

・児童扶養手当受給者への臨時特別給付金給付事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てと仕事を一人で担う低所得の独り親世帯の経済的基盤が弱く、生活実態が依然として厳しい状況を踏まえ、1世帯当たり5万円、児童2人目以降、1人につき3万円の年度内支給を目指す事業である。本市独自の事業であり、迅速なことで、大変に評価するものであり、賛成する。(公明)

・厳しい状況で苦しんでいる独り親家庭に対して市の手が伸びていく。最も経済的な問題、負担がしわ寄せされやすいコミュニティに対して、しっかりと給付をしていくことは高く評価したい。独り親家庭に5万円給付を市が率先して、独自ですぐに判断した自治体というのは、限られている。そういう中で判断をしたのは本当に高く評価できる。こういった部分を大きく評価し、賛成する。(虹の会)

委員会における主な質疑

【総務常任委員会】

〇質疑 地方創生臨時交付金について、現在、どのぐらいの残額があるのか。
〇答弁 一次交付、二次交付合わせて、およそ16億8100万円の交付額となっている。今後、三次交付では、およそ8000万円が交付される見込みとなっている。現時点で16億2000万円を予算計上しているため、残額はおよそ1億4000万円となっている。

【厚生常任委員会】

〇質疑 児童扶養手当受給者への臨時特別給付金給付事業について、今後の給付に至るスケジュールを教えてください。
〇答弁 1月に対象者へ通知、2月中旬頃に支給したい。

〇質疑 休日夜間急患診療所運営事業について、コロナへの対応はどのような体制になっているか。
〇答弁 休日夜間急患診療所では、発熱患者も含め対応しているが、コロナの疑いがある患者は、県などへ連絡の上、適切な医療機関を受診してもらっている。

【文教市民経済常任委員会】

〇質疑 個人番号カード等交付関連事務で、窓口はどの程度充実するのか。
〇答弁 12月から来年3月にかけて、カード未取得者にQRコード付申請書を送付する通知があった。総務大臣からも同じような通知が出ており、それに対応すべき窓口を充実したい。

議会の動き

10月

- 13日 全国市議会議長会基地協議会相談役会が東京で開催され、議長が出席
- 14日 全国市議会議長会基地協議会正副会長・監事・相談役会が東京で開催され、議長が出席
- 23日 神奈川県市議会議長会定例会が本市で開催され、正副議長が出席

11月

- 9日 全国市議会議長会基地協議会関東部会総会が木更津市で開催され、議長が出席
- 10日 厚木基地騒音対策協議会が横浜市で開催され、議長が出席
全国市議会議長会基地協議会理事会が東京で開催され、副議長が出席
- 17日 全国市議会議長会国会対策委員会及び要望活動が東京で行われ、議長が出席

- 18日 議会運営委員会
- 25日 議会運営委員会
第4回定例会開会
本会議
- 27日 環境建設常任委員会
- 30日 文教市民経済常任委員会

12月

- 1日 厚生常任委員会
- 2日 総務常任委員会
- 3日 基地対策特別委員会
- 11日 議会運営委員会
- 14日 一般質問
- 15日 一般質問
- 16日 議会運営委員会
一般質問
- 17日 議会運営委員会
- 21日 本会議
第4回定例会閉会
- 22日 広域大和斎場組合議会定例会が本市で開催され、議長ほか5名が出席
- 25日 広報委員会
- 1月
8日 広報委員会

詳細は市議会ホームページを御覧ください

大和市議会

検索 クリック

その他の主な委員会質疑

【総務常任委員会】

事務分掌条例の一部改正

○質疑 3部16課39係から2部15課35係とスリムになるが、職員の負担は増えないのか。

○答弁 今回の業務がそのままスライドするので、大きな負担にはならないと考えている。

○質疑 この改正は第6次行政改革実行計画の中で示されている組織体制の見直しと捉えていいのか。

○答弁 そのとおりである。

市税条例の一部改正

○質疑 今回、新型コロナウイルスによってイベント等が中止になり、払戻しをしない人に対しては寄附金控除の対象とすることだと思う。いつからいつまでのイベントが対象なのか。

○答弁 控除の期間は令和2年2月1日から令和3年1月31日までのイベント

【文教市民経済常任委員会】

国民健康保険税条例の一部改正

○質疑 基礎控除が10万円上がることによりどのような影響があるのか。

○答弁 条例改正による国民健康保険税への影響は、給与所得者、公的年金の雑所得者に影響はない。

一般的には、一部、営業所得の方、事業所得の方などは軽減が受けやすくなる結果になる。

工事請負契約の締結(鶴間中学校大規模復旧防音・改修工事)

○質疑 本工事により延命化を図るが、コンクリートで50年対応となるのか。

○答弁 耐用年数60年を想定しているが、鶴間中学校は既に46年経過している。全面リニューアルすることにより、さらに30年使用できるようにする。

指定管理者の指定(やまと芸術文化ホール等)

○質疑 応募が1者しかなかったのはどうしてか。

○答弁 今回の公募は、新型コロナウイルス感染拡大時期に重なり、公共施設の運営の先行きがなかなか見えない時期であったため、各事業者が応募にちゅうちよした可能性はあると考えている。

○質疑 指定管理料は、コロナ対応の

が対象になり、その寄附の申請については令和2年2月1日から令和3年12月31日までの寄附が対象になる。

火災予防条例の一部改正

○質疑 改正後、一般市民などの消費者側と、施設などを運営している供給者側の両方に対するメリットについて聞かせてもらいたい。また、電気自動車はどれくらいのワット数が必要なのか。

○答弁 利用者側のメリットは、高出力化によって利用が短時間になり、さらに効果的な充電ができる。火災予防上では、今回の改正は、それに安全を担保する部分を付加するので、設置者側にも安全が提供できる。電気自動車の容量は、現在、50キロワットアワー前後の容量の自動車が普及している。今後、さらに超えるものが発売される見通しもある。

○質疑 現在、大和市には50キロワットに対応する設備はあるのか。

○答弁 市内に3か所ある。

運用をしていくことを考慮していないと、実際の運営に支障が出るのではないのか。

○答弁 内容を精査して、指定管理者側の意見も聞きながら、今年度中には整理したい。今回のものは令和3年度以降なので、令和2年度中に休館中のプラスマイナスも含めてしっかりと精査していきたい。

○質疑 評価基準に基づいて審査したということだが、どのような視点で審査しているのか、審査員は何人か。

○答弁 審査報告書をホームページで公開している。細かく審査項目を設けて7名の文化創造拠点等運営審議会で審査している。5名が市内在住で、公募市民も1名含まれている。

○質疑 シリウス5階でSDGsの特設コーナーを設置し、今はこども図書館でも設置されている。それは各施設に巡回していくことはできるのか。

○答弁 SDGsの関連に限らず、あのような展示を地区館で行うことは不可能ではない。要望があれば、指定管理者も検討するのではないかと。

指定管理者の指定(スポーツセンター等)

○質疑 5か所の施設管理を実際に行っているのは誰か。

○答弁 大和市スポーツ・よか・みどり財団の職員である。

○質疑 全体の指定管理料を伺いたい。

○答弁 5施設まとめて年間2億1千万円である。

指定管理者の指定(郷土民家園)

○質疑 大和市スポーツ・よか・みどり財団が指定管理を担うようになってどれぐらいたつのか。

○答弁 平成18年度からである。

【厚生常任委員会】

指定管理者の指定(障害者自立支援センター)

○質疑 指定管理について、選定委員会で課題等が出ているのであれば、教えてほしい。

○答弁 様々な相談が多く寄せられ、公設の施設であるので、丁寧に対応するようにとの意見があった。

○質疑 今回の指定で従来と変わった点があれば教えてほしい。

○答弁 年々増加する多様な相談に対応するため、相談員を1名増員する。

○質疑 相談件数が増えているが、相談員数について、今後どう対応する考えか。

○答弁 指定管理料に相談員1名の増員を含めている。また、すずらん会の努力により、状況に応じ、市の提示する人数以上の人員が配置されている。

【環境建設常任委員会】

損害賠償の額の決定(水路内の倒木)

○質疑 倒れた木の重さ、太さ、大きさ等を教えてほしい。

○答弁 樹種はエノキ、高さは約20メートル、根元付近の幹回り2.7メートルである。ケヤキに似た樹形である。

指定管理者の指定(柳橋ふれあいプラザ)

○質疑 応募事業者は1者のみなので、最低基準を満たしていれば、シンコースポーツ株式会社が指定されるものと思うが、プレゼンテーションを受け、どのような点を評価しているのか。

○答弁 本市で指定管理者の実績はないが、県内では横浜市、厚木市等で多く行っている。特にスポーツ関係に強く、介護事業等も手がけている。プレゼンテーションでは、年齢、男女問わず、地域でのスポーツによる健康増進、介護関係の教室開催等の提案を受けており、従来以上に地元住民の福祉及び健康増進に力を入れてもらえるものとする。

指定管理者の指定(引地台公園等)

○質疑 指定管理候補者は、自主事業で緑化推進活動の普及啓発等に力を入れ

【基地対策特別委員会】

○質疑 岩国、横田、沖縄で新型コロナウイルスの感染者が増えているが、厚木基地はどうか。

○答弁 厚木基地はこれまで多くても数名で推移している。日々数字は変化しているが、厚木基地内の現在の感染者数は4名と公表されている。

○質疑 10月15日の部品紛失の詳細を教えてください。

○答弁 海上自衛隊の八戸航空基地の第



令和2年度介護保険事業特別会計補正予算

○質疑 市・県民税の制度改正に伴うシステム改修とは、どのような内容か。

○答弁 制度改正に伴い、保険料算定をする部分と、介護保険認定の有効期間が延びることに伴うシステム改修である。

令和2年度病院事業会計補正予算

○質疑 特別減収対策企業債は、いつから借りられるのか。

○答弁 令和2年度に資金が不足した額を借りるものである。

る方針を示している。その実績と市のチェック体制の在り方を教えてほしい。

○答弁 引地台公園では緑がかなり茂っているので、暗くなりがちな園路沿いの樹木を間引いたり、剪定している。また、剪定した木の枝は園内でウッドチップとしての再利用等、定期的に報告を受けている。担当職員と財団職員で現地立会いの下、適宜行っている。

○質疑 各施設の特徴を生かし、より専門的で意欲的な取組をしようとした場合、3公園を1パッケージとして管理させることは足かせとなるのではないかと。

○答弁 3つの公園とも野球場があるので、平等な市民利用に供するのであれば、同じ考え方で同じ管理とすることが市民にとっても最善と考えた。特徴としての切り口ではなく、公平な管理という切り口から3つの公園として束ねている。

指定管理者の指定(多胡記念公園)

○質疑 大和市スポーツ・よか・みどり財団は広く事業を展開している。職員の賃金、報酬は市職員並みなのか。

○答弁 職員1名以外はアルバイト数名であるが、財団の組織、人数等は把握していない。

2航空隊に所属するP-3C哨戒機の部品の紛失の知らせが来た。部品発見の情報は入っていないが、紛失部品はレンズリテーナーで、翼の先についている寸法が縦28ミリ、横18ミリ、厚さ5ミリで、重量は1.1グラムのアルミニウムの部品である。情報提供が電話であったので、長距離の移動中での紛失で、厚木基地でも部品発見の情報はなかったことも含めて、第2航空隊に、厚木基地で部品紛失時と同様に安全対策の徹底、十分な整備をする要請は口頭で行った。



一般質問 (12月14日・15日・16日)



子どもの自殺が急増 効果と害を見定めた感染症対策を

虹の会 石田 ゆたか

〇質問 新型コロナ対策の影響で自殺が急増している。前年比で10月は40%増、女性の増加率は、10月は83%増である。また、8月は女子中学生が昨年の4倍、女子高校生は7.3倍、中高生全体でも倍増しており、一人の大人として責任を痛感する。新型コロナウイルス

による死者は極端に高齢者に偏る傾向が強い。12月9日時点での年齢別死亡者の内訳は、80代が1275名、70代が556名、60代が194名、50代が67名、40代が23名、30代が6名、20代が2名、10代はゼロ名である。新型コロナの陽性者が死亡した場合、

直接的な死因を判断せず全てカウントしている。海外での猛威を考えれば慎重になることは理解するが、子どもたちに過度な感染対策を強いるのは、反対である。市は子どもたちの健全な育成を踏まえた、今後の新型コロナ対策についてどのように考えているのか。次に、子どもの虐待やDV、妊娠といった報告や相談が増加しているが、人員が全く足りていない。人員体制の強化が必要ではないか。

〇答弁 市内小中学校には新型コロナで重症化しやすいとされている基礎疾患等

のある児童生徒が在籍しており、感染対策は必要であると捉えている。教育委員会では、今後はオンラインによる対面相談を活用するなど、相談体制の充実を検討していく。

〇要望 特にコロナの影響で自殺する子どもが非常に増えている状況下だけでも、人員体制を強化してほしい。感染症対策も重要だが、対策の効果と害をよく見定め施策を講じなければ大変な事態を招きかねない。厳しい現状の中で最善の選択肢を冷静に見いだしてほしい。



見える景色が変わるか 大和駅の西側

自由民主党 青木 まさし

〇質問 市は旧青少年センターの跡地利用として保育施設の整備などに着手しているが、建物の整備事業者が決まった経緯や現在の進捗状況、保育事業者と協定を結んで実施する事業について伺う。

〇答弁 プロポーザル方式を採用し、子育て支援施策に力を入れる本市の象徴となるような建物や様々な事業が効率的かつ一体的に実施できるレイアウトなどを公募し、整備事業者を選定した。2月末の竣工に向け順調に工事を進めている。協定に基づき低年齢児型保育所の運営、送迎ステーション事業、午後8時まで預かる延長保育事業、体調不良児対応型病児保育事業、年末年始も対応可能な休日保育事業を実施する。地域子育て支援として、育児相談事業や一時預かり事業を年中無休で行うとともに、地域子育て支援拠点事業こどもーるを運営する。

〇質問 旧商工会議所跡地等を含む公園改修整備について伺う。

〇答弁 芝生広場や休憩所、子供に人気の遊具等を設置し、魅力的な公園となるよう、現在、公園改修整備の実施設計を進めており、樹木や既存施設の撤去、造成工事は令和3年1月から着手していく。

その他の主な質問項目

〇小中学校における防災に関する取組について

〇防災意識の高揚への取組について



公私連携型保育所 (イメージ図)



コロナ禍で生じる未曾有の影響 学校教育での対策を十分に

自由民主党 中村 一夫

〇質問 3月に一斉臨時休校となり、実に約3か月に及ぶ休校で特に新小学1年生や新中学1年生にとっては、全く新しい環境になじむための大切な期間であり、影響がどのような形で子供たちに出ているのかは大変憂慮している。児童生徒の学習状況、学力についてどのように認識しているか。中学校3年生については進路に影響は出していないか。また、休校の影響がいじめや不登校問題への発展、児童生徒の生活習慣や学習習慣、メンタル面に及んでいないか対策と併せて伺う。

〇答弁 学校再開時に見直した教育内容を重点化した年間計画に沿って順調に学習を進めている一方、感染症対策を講じていても、リスクの高い話合いによる学習等が十分に実施できていない状況もある。小学校、中学校1年生に対しては、6月の分散登校時から丁寧な児童生徒理解を



進めており、進路を控えた中学校3年生に対しては、きめ細やかな進路相談や学習支援を行うことで、安心して学校生活を送れるよう取り組んでいる。休業期間明けには感染への心配や不安から登校できない児童生徒もおり、学校ではアンケートや面談を行い学習習慣やメンタル面の支援をしてきた。また、新型コロナウイルスによるいじめや偏見が生まれやすい道徳の時間や学級活動等、学校教育全体を通して人権教育に取り組んでいる。



行政のデジタル化 誰もがICTの恩恵の享受を

公明党 かねはら ただひろ 金原 忠博

〇質問 情報通信技術の活用を通じて社会に変革を促すデジタルトランスフォーメーション(DX)が世界の潮流となる中、日本は大きく後れを取っており、国はこの取組を加速させる方針である。本市で、デジタル化を進める司令塔的部署が必要と考えるが、どう考えるか。

〇答弁 AIやロボットの活用等、社会の在り方に影響を及ぼす新たな取組が進んでいる中、行政のデジタル化のニーズが高まっている。本市としても、行政手続のオンライン化やモバイルワーク環境、RPA等の新たな技術を活用した事務改善など、抜本的な改革を進めていかなくてはならない。デジタル化、市役所全体のDXを推進していく役割を持つ組織を設けることが必要であり、専門性を持った人材の登用も併せて検討していく。

〇質問 デジタルミニマム社会は、誰も

が情報通信技術の恩恵を受けられるよう、社会のデジタル化を形づくっていくことである。デジタル機器に不慣れな人や経済的に端末が持てない方への支援等、高齢者、障害者、外国籍の方など全ての人々が最低限必要な技術を使えるようにする取組が不可欠である。デジタルデバイドの解消に向けどう取り組んでいくのか。

〇答弁 デジタル機器に不慣れな方を含め、誰もが行政サービスを同じく享受できる仕組みを考えつつ、デジタル化を推進すべきであると考えている。デジタルデバイドを生み出さないよう、丁寧にデジタル化への取組を進めていくことで、誰もがその利便性を享受できるデジタルミニマム社会の実現を目指していく。

その他の主な質問項目

〇SDGsとESGについて

〇やまとウォーキンピックについて



広報やまとの年号表記・道理を わきまえ皇室に対する崇敬の念を

大和正風会 山本 光宏

〇質問 令和の御代が穏やかで平和に、未永く栄える時代となることを祈念するものであるが、なぜ広報やまとの年号表記は元号がなくグレゴリオ暦のみなのか。

〇答弁 表紙は発行年月日を西暦で表記、裏表紙は元号と西暦表記。表紙はデザインも考慮し、この表記を20年以上採用しており、市民にも定着している。

〇意見 グレゴリオ暦はローマ教皇グレゴリウス13世が命じ、使用している暦である。しかし、暦はヒジュラ暦やタイ太陽暦もある。インドネシアではヒジュラ暦を主に使っているが、他民族への配慮からグレゴリオ暦やバリ暦も使用している。同国独立宣言書の日付は「05年8月17日」で、05年は皇紀2605年を表す。また、議案書等は元号表記のみで、グレゴリオ暦は併記もされていない。公の機関の刊行物とはそういうもの

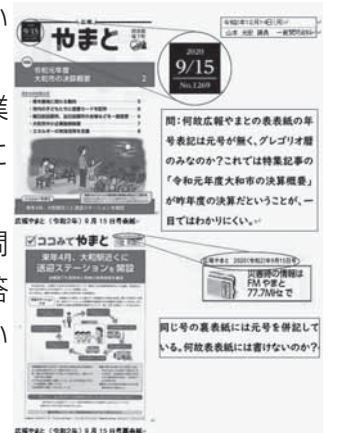
で、裏に書かれているから、昔からこのデザインだから等の考えは、物事の道理をわきまえぬ暴論である。それとも、大和市は物事の道理はどうでもいい、公の刊行物として広報やまとは鴻毛のごとき軽さでよしと言うのか。

その他の主な質問項目

〇本市における環境問題とそれに対する政策について

〇郵便事業との関連について

〇一般質問における「答弁」について



一般質問配布資料

一般質問 (12月14日・15日・16日)



パートナーシップ制度導入に伴い
市民の理解と支援の拡充を！
公明党 山田 己智恵

○質問 パートナーシップ宣誓制度は法律上の婚姻が困難な2人をパートナーとして市が公に証明する制度で、本市が人権尊重の観点から制度の導入を決断されたことに感謝する。宣誓書受領証を受けることで利用できる制度を伺う。

○答弁 受領証があれば既に県営住宅は入居申込みが可能となっているが、市営住宅においても申込みが可能となるよう、現在検討している。

○質問 市立病院の対応について、宣誓書受領証の提示で家族同等の運用がスムーズになるのか。またホームページに同性パートナーも家族同等に対応できることを明記していただきたいがどうか。

○答弁 制度についての院内周知を図り、円滑な対応となるよう努める。また、様々な患者さんが安心して受診できるようホームページへの掲載を検討する。

○質問 不動産屋や民間医療機関など市内事業者に対し、家族同等に対応していただけるよう理解と協力の要請を、また職員向けには対応マニュアルの作成と研修を、市民向けには理解促進リーフレットを作成し啓発を図りたいがどうか。

○答弁 本市の病院や不動産業者には関係団体を通じて本制度の説明、御協力をお願いする。市民にはリーフレットを作成し街頭における配布や公共施設の配架を行い、さらに広報やま、ホームページを通じて周知啓発を実施していく。また、市職員が適切に対応できるよう、ガイドラインの作成をはじめ多くの職員に向けた研修を実施していく。

その他の主な質問項目

- 共生社会に向けた包括的支援体制の整備について
- 高齢者の難聴支援について



多様性を認め合う共生社会
インクルーシブ公園の整備を
公明党 河端 恵美子

○質問 一般的な公園は障害児が遊ぶことが難しい状況もあり、誰も排除しない、誰もが楽しめるインクルーシブ公園が求められている。「誰もがつい足を運びたいくなるような公園」がコンセプトの大規模改修中のやまと公園に、インクルーシブ遊具を整備してはどうか。また、当事者の視点やインクルーシブな視点を加え、今後の公園の整備を進めてはどうか。

○答弁 大和ゆとりの森等でユニバーサルデザイン遊具を設置している。やまと公園に限らず公園整備に合わせ、新たなインクルーシブ遊具整備の動向を注視し、多様な利用者に配慮した整備に努める。

○質問 公園利用者へ共生社会の考えを表記等で推進してはどうか。また、公園利用者の中には知的障害や聴覚障害などの合理的な配慮が必要な方もいる。コミュニケーション支援ボードの交流支援版を

公園の管理事務所に設置できないか。
○答弁 多様な利用者に配慮した案内表示の在り方や使い方を踏まえ考慮する。
○質問 公園情報共有アプリを活用し公園の施設情報発信に取り組んではどうか。
○答弁 市民への周知や公園施設を利用したイベント情報等の発信も検討する。

その他の主な質問項目

- 地域コミュニティの再生・活性化について
- ヤングケアラーについて



インクルーシブ遊具



未来へつなぐ都市農業を
神奈川ネットワーク運動 くにかね 久子

○質問 世界の人口増加等による食料需要の増大や異常気象による生産減少に加え、新型コロナウイルス感染症などの新たな感染症の発生による輸入の一時的な停滞等、我が国の食料の安定的な供給に影響を及ぼす可能性のあるリスクが顕在化しつつある。グローバル化が進んだ現代社会において、全ての食料を国産で賄うという鎖国的な食料政策は非現実的であるが、有事に備えて必要最低限の供給力を確保することが不可欠である。生産緑地法の改正により、生産緑地地区の最低面積が500平米から300平米となるなど指定基準が緩和された。これにより本市の状況にどのような変化があったのか、新規指定について伺う。

○答弁 平成28年に国が策定した都市農業振興基本計画において、都市農地の位置づけがこれまでの宅地化すべきもの



作る人の顔が見える地場野菜

から都市にあるべきものへと変更されたことを受け、市は市街化区域内農地を可能な限り保全するため、一部改正された生産緑地法等に基づき、平成30年度に大和市生産緑地地区指定基準について緩和を基本とした見直しを行った。この結果、11か所1万5230平方メートルの市街化区域内農地を新たな生産緑地地区として都市計画に定めることができた。

その他の主な質問項目

- 電力の地産地消に向けて



マイナンバーカード交付窓口
混雑解消の取組を
大和正風会 あかみね 太一

○質問 政府は、マイナンバーカード普及促進を図るべく、マイナポイント付与期間の延長と未申請者およそ8000万人に対してQRコード付きの申請書を送付するとのことであり、交付窓口の混雑は今後も続くものと思われる。こうした状況に、市民から多くの議員にお叱りの意見が届いている。時間を割いて窓口に来て、3時間、4時間待たされるとなれば、どうなっているのだと思うのは当然である。本来国が主導する事業の手続を大和市が行うわけで、国が支援するのは当然である。窓口による手続を行う以上、さらなる混雑緩和策の実施は不可欠であると考え。混雑を解消するための取組と予約制導入について伺う。

○答弁 マイナンバーカードの交付増加に伴い、市民をお待たせする状況が生じたため、8月以降、窓口の会計年度任用

職員を増員し、あわせて、市民課以外の職員による応援も継続して実施している。また、10月からは日曜日のマイナンバーカードの交付時間を12時半から17時まで延長し、11月からは新たな受付体制を取り、交付窓口も5窓口から6窓口を増やしている。現状として混雑の解消が図られているところであり、待ち時間は大幅に短縮傾向にあるが、これからの交付申請数を見ながら、予約制度の導入も含め考えていきたい。



こもりびと支援窓口開設から
1年が経過して
大和正風会 佐藤 正のり

○質問 孤立を防ぐために質問する。一度孤立すると周りの目が届きにくくなり、ますます孤立化が進み、悪循環に陥りやすくなる。こうなると、自助努力や共助では抜け出すことが難しくなる。孤立は様々な問題に対する不安を増大させ、深刻化させる。このような問題認識の下、

私は過去、主に30代から50代の孤立に陥っている方とその家族について繰り返し質問をした。市におかれては、こもりびと支援窓口を開設していただき、心より感謝する。開設後、1年が経過して、市長の所見を伺う。

○答弁 この施策については、潜在的な

ニーズに応えるものであり、どの程度の反響があるかは未知数であったが、多くの方から相談をいただいたことに関して大変驚いている。昨年10月から今年9月までの1年間でこもりびと当事者97人、延べ390件の相談が寄せられた。さらに、この11月の延べ相談件数は60件で、22人の新たな当事者の方から相談があり、そのうち15人がこもりびと本人からの相談であった。きめ細やかに、かつ時間をかけてこもりびと支援を実施してきた結果、家族間のコミュニケー

ションが緩やかに回復した事例や、就労することで再び社会とのつながりを持つことができた事例もあり、少しずつではあるが、本人または家族が段階的に変化し始めていることを実感する。

○意見 市がこもりびとという言葉を生み出し使用したことは大変すばらしく、非常に高く評価する。NHKのドラマや特集プロジェクト名に採用されるなど、こもりびとという言葉が全国的に浸透したことは、全国の当事者と家族にとっても解決につながる一助だと思う。

一般質問 (12月14日・15日・16日)



安全で安心した消費生活に向けて

公明党 吉澤 弘

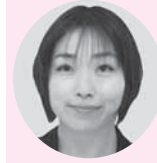
○質問 県内の消費生活相談窓口... ○質問 市の消費生活センターでは... ○質問 市民への周知、啓発にシリアスを利用してはどうか... ○質問 ホームページ、広報やまと等で周知し、若年層向けPRに努める... ○質問 消費生活センターに用意されて

いる様々な資料を小中学校の消費者教育に活用してはどうか。

○回答 若年者対象のトラブル事例は年々多様化し、児童生徒の発達段階に応じ、具体事例を踏まえた消費者教育が必要と考えている。今後も小中学生向け学習教材の周知などに取り組んでいく。

その他の主な質問項目

- 大和市身体障害者福祉協会との意見交換会を受けて
○旧市宮緑野住宅跡地の活用について



自立を支え個人の尊厳を守るため 加齢性難聴への迅速な支援・周知を

日本共産党 ほりぐち 香奈

○質問 難聴は、日常生活を不便にするだけでなく、社会活動の減少やコミュニケーションを困難にし、鬱病や認知症の危険因子になるとの指摘もされている。難聴への対応を個人任せにするのではなく、必要な対策が行えるよう社会的に取り組むことが必要ではないか... ○質問 2019年公表のWHOガイドライン「認知機能低下および認知症のリスク低減」には、難聴は認知機能の低下または認知症のリスク増加と関連してい

るとされており、運動不足、高血圧、喫煙等とともに、認知症の危険因子の一つであると認識している。補聴器は、早い段階から使用することで聴覚刺激の減少期間をできるだけ短くし、聴力の低下を最小限に抑え、毎日の生活の機能を改善するものであるため、専門医への相談の上、適切に使用することが望ましいものとする。

○質問 耳の聞こえを支援するために独自の支援として、健診項目に聴力検査を追加し、中等度難聴への補聴器購入助成を行うべきではないか。

○回答 現時点では特定健診や長寿健診の際に聴覚検査追加、補聴器の購入費助成は考えていない。

○要望 人生100年時代にもっと社会の中で活躍できるよう耳の聞こえの支援、補聴器購入助成の検討を求める。



「危険なバス停」1か所だけか？ 道路の安全確保へ死角なくせ

自由民主党 小田 博士

○質問 平成30年8月、横浜市内で小学5年女児がバスの後ろから道路を横断し、対向車線の自動車にはねられた痛ましい死亡事故があった。神奈川県警が公表している一覧表によると「危険なバス停」は県内84か所ある。本市では上草柳の東原停留所がB判定となっている。このバス停の現状はどうなっているか... ○質問 県警から指定されたことから、速やかにバス停と横断歩道の手前に注意喚起の看板を設置した。昨年6月、対策会議を開催しバス停、横断歩道の移設を検討したが、必要な条件を満たせなかったため移設に至らなかった。現状の改善策として今年1月、横断者注意の文字をバス停付近の上下線に各1か所標示した。今後も県警と連携して安全対策に努める... ○要望 複雑な状況があるのは理解するが、県内84か所の大半は停留所や横断

歩道の移設、廃止といった対策を講じている。周辺住民の意見もしっかり聞きながら安全対策を強化してほしい。今後明らかにされる国土交通省の調査では、市内の危険なバス停は1か所にとどまらず、増えるかもしれない。社会問題化する可能性もある。住民の命を預かる基礎自治体として安全対策に万全を期してほしい。

その他の主な質問項目

- ネット炎上対策
○パートナーシップ制度



横断歩道に至近の停留所



子どもの視力低下 予防する対策を

神奈川ネットワーク運動 山崎 さゆき

○質問 文部科学省学校保健統計調査によると、令和元年度の裸眼視力1.0未満の者の割合は、小中高で過去最高となった。生活全般の変化が影響しているものと思われる。しかし、GIGAスクールが始まる今年度以降は、その影響が顕著に現れてくるのではないかと危惧している。子供の視力の低下についてどのように捉えているのか、市長の見解を伺う... ○回答 ICT機器の使用環境が急速に整備されていく中、子供の目の健康状態についても十分留意する必要があると考えている。現在、長時間利用等に伴う視力低下を早期発見するための対策について教育委員会と協議している。引き続き子供の目の健康管理に努めていく... ○質問 3歳6か月児健康診査の視覚検査で、大和市は毎年約60人もの子供が一次検査で問題が見つかったも、異常の



可能性があるのに検査を受けていない。二次検査や精密検査の受診率を上げるためにどのような対策を行ったか。

○回答 新たな取組として、ポスターに視覚検査の重要性を掲載するとともに、健診の個別通知に、二次検査、精密検査について説明を追加し、啓発と受診勧奨に努めている。また、精密検査未受診者に対する受診勧奨、追跡調査を開始した。

その他の主な質問項目

○保育所運営について
の収入増も見込めることから、シリアスの6階に自動販売機を設置してはどうか。

○回答 設置の是非について検討を進めていく。

○質問 市役所本庁舎内の蛍光灯照明器具は1720基もあるが、これをLED化してはどうか。

○回答 蛍光灯を扱うメーカーも減少してきており、今後さらに入手が困難になることも想定されることから、大規模改修の計画段階において、照明器具LED化について検討を進めていく。



コロナ禍で困っている家庭へ 今こそ子育て支援の充実を！

明るいみらい大和 町田 零二

○質問 見守りが必要な御家庭に食品を持って訪問するアウトリーチ型の事業である「こども宅食」を導入してはどうか... ○回答 御提案の「こども宅食」はコロナ禍におけるこどもの見守り体制の充実につながるものと認識しており、実施に向けて検討していく。

○質問 長引くコロナ禍で今後の財政状況は厳しさが増すと予想されるが、保育所等の待機児童ゼロを目指すことは継続すべきと思う。市長の見解はどうか... ○回答 子育て支援に力を入れて取り組む姿勢は今後も継続していくべきである。子育て世代の定住を促進し、本市の将来

一般質問 (12月14日・15日・16日)



厚木基地での弾道ミサイル迎撃訓練は許されない
日本共産党 たかく 良美

○質問 米陸軍ペトリオット部隊が厚木基地に弾道ミサイル迎撃機を持ち込み、訓練をした。北朝鮮、中国と米国との緊張の高まり、敵基地攻撃や先制攻撃論まで議論される状況で、厚木基地が使用されることは、市民に大きな不安がある。市への情報提供とその内容を伺う。
○答弁 国から訓練を実施する旨の情報提供があった。訓練は各部隊間を通信でつなぎ、弾道ミサイル等からの防衛をシミュレーションする内容で、本市は国に対し早期の情報提供とともに、市民生活に影響を及ぼさないよう要請した。
○質問 現在、木更津基地で米軍のオスプレイの整備が行われ、自衛隊のオスプレイが暫定的に木更津基地に配備され、飛行訓練や整備に厚木基地も使われる懸念がある。加えて、母港の連絡機をオスプレイに更新する予定で、これらの状況

から、厚木基地がオスプレイの訓練と整備の拠点基地とされるのではないかと危惧する。市長の見解を伺う。
○答弁 木更津駐屯地で米軍オスプレイの定期機体整備が行われ、国が日米共通の整備基盤の構築を進めていると承知しているが、厚木基地を整備や訓練の拠点として使用するなどの情報には接していない。オスプレイに限らず、新たな動きも見られ、市民負担の増加は決して容認できない旨、強く申し入れている。



持ち込まれた弾道ミサイル迎撃機



地域活性と共生社会の実現に向けて
農福連携の推進へ支援を
神奈川ネットワーク運動 布瀬 めぐみ

○質問 農福連携とは、担い手や労働力が不足する農業分野と、新たな働く場を求める福祉分野、双方の課題を解決し、農業経営の発展とともに、障害者の社会参画の実現を促進する取組のことである。農業と福祉のつながりは、福祉の観点から、農作業を通じた癒やしの効果などが着目され、以前から精神障害者のリハビリテーションなどに取り入れられてきた。農福連携をどのように考えているか。
○答弁 障害者が農業に従事することは、身体面、精神面にプラスの効果があるとされ、農業が障害者の就労の選択肢の一つとして広がることはメリットがあるものと考えている。本市では、本年11月に、市内提携農園を有し、農園での農作業を主として就労訓練を行う障害福祉事業所が開設されたことから、今後の利用状況等を見守っていく。

○質問 受け入れる農業者は、障害者ができる作業はどのようなものなのか、どう接していくのかなど、不安も大きく、事業者も、どうやって農業を始めるのかなど、双方の不安は尽きない。農福連携の導入の相談とともに、農業者、福祉施設などの不安にどのように対応し、不安解消に努めていくのか、見解を伺う。
○答弁 障害福祉事業所等から、農作業を実施したい、農業従事者等から、人材雇用等の相談が寄せられた場合には、関係部署が連携し、相談者の意向に対応できるよう努めていく。また、農業に従事したい障害者から相談を受けた場合には、大和市障害者自立支援センター等と情報共有を行い、障害者の就労に向けて最適な選択ができるよう対応していく。

その他の主な質問項目

○大和市の緑地管理について



タクシーチケットの半額助成を！
のうち 野内 みつえ

○質問 自宅付近の大通りにあるバス停までの道のりが、健常者には気がつかないほど、長くつらいものと感じる方々が多くいる。本市にはのろっと、のりあい、やまとんGOという、地域を運行する施策があり、低料金の市民サービスに対して喜びの声をいただいているが、コースの拡充を求める声が多くある。これからは、本市でも人口が微増であることが予測されているからこそ、足や腰に不調を抱える方々や、軽い認知症の方々、また、年齢に関係なく身体に障害をお持ちの方々の割合が多くなることが予想される。本市の施策に福祉タクシー利用助成事業があるが、介護が必要となった方には、ハードルを下げた形での利用助成があると、より安心である。本市の財政状況を考えて、70歳以上で、行き先を通院中の病院、市内の公共施設、市内のスーパーや

ドラッグストアに限定し、今後、進展していくと思われる超高齢社会の中で、自動車免許返納後の対策としても、タクシーチケットの半額助成はできないか。
○答弁 本市における施策のほか、移動を含めた買物支援など、地域の助け合い活動の実践事例や、民間事業者によるサービス等も充実してきており、高齢の方々のニーズに応じた生活支援が行われている。さらなる移動手段の助成については、今後、調査研究していく。



身体を動かすことで免疫力アップ！
コロナに負けない身体づくり！
のうち 古谷田 力

○質問 人間の心と体の健康づくりには、食べること、眠ること、体を動かすことが重要で、特にスポーツでストレスを軽減し、免疫力を高め、コロナに負けない身体づくりができる環境が大事だと考え、健康都市やまtoにおけるスポーツの役割についての考えを伺いたい。
○答弁 長引くコロナ禍で社会全体の活動が抑制され、免疫力や筋肉量の低下、二次的な健康被害が懸念される。スポーツがもたらす効果を最大限に生かし、市民の健康に寄与するよう努めていく。
○質問 スポーツにおけるジュニアの育成事業について、大和市がホームタウンになった横浜F・マリノスと連携して本市の子どものためのレベルアップ教室など、世界につながる環境を整えてはどうか。
○答弁 大和市から世界で活躍するスー

パースターを輩出することを目的に横浜F・マリノススペシャルクラスの開催計画がある。実現すれば、所属チームに籍を置いたままマリノスのプロコーチによる貴重な指導を定期的に受けられる。世界で活躍するアスリートが誕生できるような環境の整備、企画立案に努めていく。
○質問 指定管理者募集要項等で大和スポーツセンタープールが検討中の理由は。
○答弁 プールの在り方は十分検討する必要があるので、供用は検討中とした。 横浜Fマリノスの子ども教室



横浜Fマリノスの子ども教室



新型コロナ拡大阻止は
PCR検査の飛躍的な拡大が不可欠
虹の会 大波 修二

○質問 大和市の新型コロナウイルスの感染状況は現在急速に拡大している。神奈川県平均の約10倍の多さであると思う。感染拡大阻止の重要政策は感染源対策であり感染症の発生源、繁華街・感染急増地帯・感染者対応の施設等を集中的に軒並みに全面的にPCRの社会的検査

の拡大が必要である。それは誰でも、いつでも、何回でも徹底的に行うことである。保健所と話し合っ、感染者に接触する人、これは介護施設、養護施設、保育園、幼稚園、学校の検査の徹底である。同時に、感染者の追跡者である専門トレーサー、これは検査で陽性になった人を保

詳細は市議会ホームページを御覧ください

大和市議会

検索 クリック

一般質問 (12月14日・15日・16日)



新しい生活様式、住みたいまち 選ばれるまちに向けて公園整備を

自由民主党 福本 隆史

○質問 コロナ禍で住みたいまちの志向は大きく変化し公園の整備状況や住環境を重視する傾向がある。しかし大和市の1人当たりの都市公園の面積は県内最低で今後のまちづくりに公園施策は課題である。また公園の数は多いがコストが高くつく小さな街区公園が多く、利用度の

高い広めの公園を整備するなど弱点を克服すべきである。そこで2022年に期限を迎える生産緑地があり継続か否か悩む農家も多いと思われ、そうした方に借地公園制度を活用してもらい都市公園の整備をしてはどうか。制度の概要も伺う。 ○答弁 借地公園の対象は500平方メー

トル以上、契約期間は10年以上等としている。また今後の生産緑地解除において土地所有者の土地活用の選択肢となり得るため、総合的に判断し活用を図る。 ○質問 小規模公園の統廃合はどうか。 ○答弁 整理統合などの手法は承知している。将来的な課題であると考えている。 ○質問 多様性も重要。障害のある子どもい子もケアが必要な子どもそうでない子ども一緒に遊べるインクルーシブな遊具のある公園として、整備予定のふれあいの森草柳広場を整備してはどうか。



市民が憩う広い公園

○答弁 インクルーシブな遊具の視点も含め多様な利用者に配慮したものとする。

その他の主な質問項目

○大和市のごみ施策について

路上喫煙の防止に関する条例を一部改正

この条例は、受動喫煙防止を含めた路上喫煙防止対策の一層の推進を図るため、市内全域において路上喫煙を禁止する改正等を行いたい必要によるものとして提出されました。

本会議における審議

所管の環境建設常任委員長からの審査報告後、討論を経て、全員賛成で原案のとおり可決されました。

○賛成討論

・改正されたことは高く評価する。コロナの影響もあり、町なかに喫煙ができる場所がほとんどなくなってしまい、喫煙者からは悲鳴の声が上がっている。また、駅周辺はポイ捨てたばこの散乱も多くなっている。受動喫煙防止に配慮した喫煙場所の設置や民間事業者などと連携を図り、ハード面の対応も必要と考える。今後はたばこ税の予算の活用を含め、健康都市の実現に向けた受動喫煙防止の取組を要望して、賛成する。(公明)

・今回の条例改正が市民から喫煙の自由

を完全に奪ってしまうのではなく、喫煙者も、非喫煙者も、お互いが思いやりを持って共存するためにも、何らかの形で必要な場所に喫煙ができるスペースが必要だと考える。本条例第1条に追加される「受動喫煙の機会の低減に寄与」するよう十分配慮いただいた上で、喫煙できるスペースの確保について引き続き調査研究していただくことを要望し、賛成する。(自民党)

・受動喫煙被害に対してはあまり有効な条例ではなかった。また、今年4月には改正健康増進法が本格施行され、全国的に屋内での喫煙も規制が強化されたが、屋外の受動喫煙防止については直接的な規制はなされていない。本条例改正案は、条例の目的として「受動喫煙の機会の低減に寄与」を加えることをうたっている。これは、前述の問題解決に資するものであり、賛成する。(正風会)

・受動喫煙が健康被害につながっていく

とか、コロナの問題で呼吸器系の問題とも直結してくることから、こうしたことが進んでいくということはすばらしいことだと感じている。一方で、町なかでたばこを吸える場所というのが本当に限られている状況がある。分煙や受動喫煙の防止が進んでいくことは、非常に前向きに捉えられるし、しっかりと分煙できる環境整備をやっていただきたいという思いを込めて、賛成する。(虹の会)

環境建設常任委員会における主な質疑

○質疑 市民への広報が不十分な点を危惧している。市内に約290か所ある大和市広報PRボード等を活用し、啓発周知すべきではないか。

○答弁 路面標示、看板も工夫しながら拡充していきたい。また、ポスターを作成し掲出等の要請をしていきたい。あわせて、案内チラシの全戸ポスティングを予定しているので、周知に努めたい。

○質疑 現在コロナの影響により閉鎖されている駅周辺の喫煙所の扱いはどのように考えているのか。

○答弁 受動喫煙の度合いなどを見ながら、継続の可否を検討したい。

○質疑 現行条例での路上喫煙禁止区域は「重点禁止区域」「禁止区域」「路上喫煙をしないよう努める」の3層となっている。従来、過料は伴わないが、禁止区域としていた駅や小中学校周辺の扱いは今後どのように整理されるのか。

○答弁 重点禁止区域である大和、中央林間、両駅の扱いに変更はない。従来、禁止区域としていた学校周辺、重点禁止区域以外のその他駅周辺は、今回の改正では同一レベルの区域と考えてほしい。

会派代表者の変更について

12月21日付で大和正風会の代表者が赤嶺太一議員から安藤博夫議員に変更されました。

可決された意見書・決議

○年末年始における航空機の飛行自粛を求める決議

(提出先 内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、在日米国大使館、在日米軍司令官、在日米海軍司令官、在日米海軍厚木航空施設司令官、第5空母航空団司令官)

○選択的夫婦別姓制度についての議論を求める意見書

(提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣)

○安全保障上重要な土地の外国資本による売買に関して、政府が指定した区域においては土地購入者の国籍等を事前に届け出ることを義務づける法整備におい

て、厚木基地周辺の土地をその対象とすることを求める意見書

(提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、外務大臣、国土交通大臣、防衛大臣)

○病児保育事業への一層の支援を求める意見書

(提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣、神奈川県知事)

※詳細は、市議会ホームページを御覧ください。

請願・陳情について

請願は、憲法で保障されている権利で、国や地方公共団体に意見や要望等を文書で申し述べるものであり、紹介議員が必要です。陳情も同様に文書で申し述べるものですが、法令に定めはありません。

提出された請願書は、委員会に付託して審査され、本会議で採決されます。

陳情書については、「陳情書の処理基準」に基づき、同基準に該当するものは原則として、委員会に付託されません。その場合は、陳情書の写しを全議員に配付します。付託された場合は、請

願と同様に処理されます。

なお、委員会では、委員長の許可の下に意見陳述を行うことができます。

請願書・陳情書は年4回開催される定例会で審議されます。手続の都合上、**定例会初日の6日前(土、日、祝日を除く)の17時**までに御提出ください。

市議会ホームページには、記入例等も掲載していますので、御覧ください。御不明な点等ございましたら、議会事務局議事係(電話046-260-5503)までお問合せください。

教育委員会委員の任命に同意

教育委員会委員4名のうち、任期が12月8日をもって満了する青蔭文雄氏(福田)について同氏を再任したい旨、また同じく任期が満了する小松俊子氏(下鶴間)の後任として、及川紀子氏(深見)を任命したい旨の議案が定例会初日に提出され、議会は全員賛成で同意しました。

本会議のインターネット配信について

生中継(本会議中)、録画映像のインターネット配信は、市議会ホームページから御利用いただけます。ぜひ御活用ください。

市議会インターネット映像配信ページへ



大和市議会 検索 クリック

3月定例会の予定

- 2月 25日 本会議
- 3月 1日 環境建設常任委員会
- 2日 文教市民経済常任委員会
- 3日 厚生常任委員会
- 4日 総務常任委員会
- 5日 基地対策特別委員会
- 16日 一般質問
- 17日 一般質問
- 18日 一般質問
- 23日 本会議

日程は、都合により変更することがあります。3月定例会で審議される請願・陳情の受付は、2月16日(火)の17時までとなります。



議案の審議結果

自民党(自由民主党)、公明(公明党)、正風会(大和正風会)、ネット(神奈川ネットワーク運動)、みらい(明るいみらい大和)、共産(日本共産党)、虹の会

《12月定例会で全員賛成で議決した議案等》

【議案】

- 第50号 大和市事務分掌条例の一部を改正する条例について
- 第51号 大和市市税条例の一部を改正する条例について
- 第52号 大和市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
- 第53号 大和市路上喫煙の防止に関する条例の一部を改正する条例について
- 第54号 大和市火災予防条例の一部を改正する条例について
- 第55号 工事請負契約の締結について
- 第56号 工事請負契約の締結について
- 第57号 損害賠償の額の決定について
- 第58号 損害賠償の額の決定について
- 第59号 指定管理者の指定について

- 第61号 指定管理者の指定について
- 第63号 指定管理者の指定について
- 第65号 指定管理者の指定について
- 第66号~第79号 市道路線の認定(廃止・変更)について
- 第81号 令和2年度大和市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
- 第82号 令和2年度大和市病院事業会計補正予算(第2号)
- 第83号 令和2年度大和市下水道事業会計補正予算(第2号)
- 第84号 教育委員会委員の任命について
- 第85号 教育委員会委員の任命について
- 第86号 令和2年度大和市一般会計補正予算(第7号)

【議員提出議案】

- 第10号 年末年始における航空機の飛行自粛を求める決議
- 第13号 病児保育事業への一層の支援を求める意見書

《12月定例会で全員賛成ではなかった議案等》 ○賛成 ●反対 -退席、欠席	審議結果	各議員の賛否																賛否数													
		自民党				公明			正風会		ネット		みらい		共産		虹の会		○賛成	●反対											
		古木邦明	福本隆史	小田博士	井上貢	青木正始	中村一夫	小倉隆夫	平田純治	木村賢一	河端恵美子	金原忠博	鳥淵優	山田己智恵	吉澤弘	山本光宏	佐藤正紀	安藤博夫			赤嶺太一	布瀬恵	山崎佐由紀	国兼久子	野内光枝	町田零二	古谷力	堀口香奈	高久良美	石田裕	大波修二
【議案】第48号	大和市議会議員の議員報酬等に関する条例及び大和市長等常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	※	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	25	1
第49号	大和市一般職の職員の給与に関する条例及び大和市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	議	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	23	3
第60号	指定管理者の指定について	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	4
第62号	指定管理者の指定について	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25	2
第64号	指定管理者の指定について	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	26	1
第80号	令和2年度大和市一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	24	3
第87号	令和2年度大和市一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	26	1
【議員提出議案】第11号	選択的夫婦別姓制度についての議論を求める意見書	●	○	●	議	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	7
第12号	安全保障上重要な土地の外国資本による売買に関して、政府が指定した区域においては土地購入者の国籍等を事前に届け出ることを義務づける法整備において、厚木基地周辺の土地をその対象とすることを求める意見書	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	5
【請願】第2-1号	思いやり予算の廃止を求める意見書提出を求める請願書	●	●	●	議	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7	20
【陳情】第2-16号	安全・安心の医療・介護の実現と国民の命と健康を守るための陳情書	●	●	●	議	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	16
第2-17号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	●	●	●	議	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7	20

※議案第80号と第86号については、議決の順番が前後したことにより、議決後に数字等の整理を行っています。